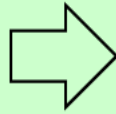


かぼちゃの導入によるさとうきびとの輪作体系の確立

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：(露地)さとうきび1.9ha
経営面積：1.9ha



事業実施後

基幹作物：(露地)かぼちゃ、さとうきび
1.9ha
経営面積：1.9ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、平成15年に就農しており、収穫期を除けば基本的に1人で経営に取り組んでいる。さとうきび専作として営農を開始したが、当時、農地にはかんがい設備がなく、ほ場近くの河川から水を汲み上げてかん水を行っていた。

しかし、事業によりかんがい施設が整備され、かん水作業に必要な労働時間や経費の節減が可能となったことから、かぼちゃを新規に導入し、さとうきびとの輪作体系を確立することで収益の拡大が図られている。

営農改善のポイント

①作物の変化

整備前は、ほ場近くの河川から水をポンプで汲み上げてかん水を行うなど、農業用水の確保に多大な労力がかかっていたが、事業によりかんがい施設が整備されたことで、水の確保が容易になったため、収益の向上が見込めるかぼちゃを輪作作物として新規に導入した。

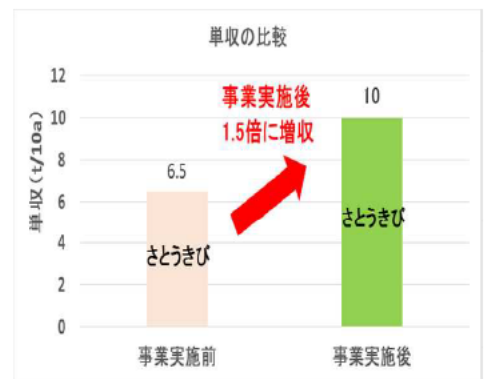
②単収・品質の向上

適切なかん水を行うとともに、堆肥の投入による土作りにも力を入れることで、さとうきびの単収が事業実施前の1.5倍に増加した。

③栽培技術の確立・向上

本経営体では、土作りの一環として、作付けの前にプラソイラーによる深耕をこまめに行い、根張りを良くすることで、単収の増加や耐倒伏性の向上、良好な土壤環境の保持等に努めている。

また、かぼちゃ栽培においては、風除けとして手持ちの資材であるトンネル支柱を上手く活用し、冬期の季節風によって葉柄が折れたりすることを未然に防いでいる。



かぼちゃの露地栽培
(さとうきび収穫後の畑に直播している)

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：宮古島市

受益面積：9,156ha

事業期間：平成21年度～

事業目的：畑地かんがい、用水改良

主要工事：地下ダム2箇所

副貯水池1箇所

揚水機場1箇所

用水路 55km

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課 地域資源係

電話：098-866-1652

(内線：83335)

(平成29年調査時点)